

村づくり基金の新たな活用について（討議資料）

*この内容は、協議会で議論の材料として配布したもので、決まったものではありません。

1 移住者の促進に向けて

① 村づくり協議会ホームページの活用

- 移住者の声や生活・活動の掲載
- 豊和地区の賃借可能な空き家の掲載
 - ・掲載のお礼として家主に謝礼

② 「移住マッチング」の取組への支援

- 移住が実現した場合、間を取り持った「取組」に謝礼を支払う。

③ 移住者への支援

- 新規移住者に一時金を支給してはどうか。

＜参考：市の支援＞ 家を新築：100万円 中古住宅購入：60万円

*賃貸を対象とする。⇒市の支援の対象とならない人

*金額については、単身、世帯、子供の有無で変える⇒金額感は？

- 既に移住して来た人も含めての定着支援制度

- ・住居のリホーム費用の補助
- ・不要な家具などの生活用品の斡旋

- 移住者に空家を提供した家主へ謝礼⇒提供促進と家主（地域の方）への還元

- ・金額は？

- 移住者の地域での仕事への支援

- ・地域の人にサービスを提供した場合に料金の一定額を補助する
- ・受ける側を豊和住民等に限定するか？ 他も可とするか？ その場合補助金額は変えるのか

2 「村づくり事業」への助成

地域アンケートからも将来地域で必要となるサービスや求められるサービスが見えてきています。こうした事業に対する助成を考えていく必要がある。

① 起ち上げ資金の無利子貸し付け

- 金額と返済期間
- 年間の金額枠とそのため資金計画（基金の設立と積立）

② 事業が成り立っていくための助成

- 実施する側と受ける側の双方のプラスとなる仕組み。利用に対する補助金。